

# 上杉文書史料調査 公開シンポジウム

## ー「上杉文書」とは何かー

令和3年度から7年度にかけ、文化庁の国庫補助事業を活用し、米沢藩上杉家に伝来した「上杉文書」（米沢市上杉博物館所蔵）の詳細調査を行いました。

文書群の史料総点数は9,000点以上。報告書（目録）は文書編3冊、絵図編1冊となります。この調査成果に基づいて、史料目録からみえる上杉文書の特徴や内容、国宝「上杉家文書」との関係や、今後の研究の展望について報告します。

2026. **3.15** (日)

**会場** 置賜総合文化センター 203研修室  
山形県米沢市金池3丁目1番14号  
(0238-21-6111)

**時間** 開場 13:00 終了 16:15予定

**入場無料** 定員 **70** 名



御国絵図下図（一部）

### 絵図データ大公開！

高精細で撮影した絵図の画像をモニターやパネルで公開します。普段間近でみられない箇所も拡大してご覧になれます。



伊佐早謙編「編年上杉家記稿」

13:30～ 開会・趣旨説明

米沢市教育委員会 社会教育文化課

コメンテーター

**菅野 正道** 元仙台市史編纂室長

発表者・パネラー

**角屋由美子** 米沢市上杉博物館  
上杉文化研究室長

「上杉文書」の成立と伝来、特徴

**佐藤正三郎** 米沢市上杉博物館  
学芸員

「米沢藩」研究の多様な展望  
～二代定勝から九代鷹山へ～

**友田 昌宏** 防衛大学校 准教授

目録から見える「上杉文書」の  
可能性～幕末維新期を中心に～

主催  
お問合せ

米沢市教育委員会 社会教育文化課

0238-22-5111